会議録

会議の名称	平成30年度第３回野洲市子育て支援会議
開催日時	平成31年３月14日(木)　　10時00分から12時00分まで
開催場所	野洲市役所　本館２階　庁議室

【出席者の氏名等】
・野洲市子育て支援会議委員（順不同）
北脇真由美委員、勝景子委員、若井末佐委員、神田美和子委員、
北村みどり委員、山口桂子委員、〇水谷威彦委員、◎前川頼子委員、
辻川眞由美委員、八木芳良委員、安田亮委員　（◎：会長　〇：副会長）欠席なし
・事務局側出席者
市：山仲市長、赤坂健康福祉部政策監、田中健康福祉部次長、
こども課：井狩主席参事、宮崎課長補佐、遠藤課長補佐、中野
受託業者：㈱ぎょうせい 臼井研究員、井川主査
・傍聴者３名

【会議の目的・主旨】

・審議　（１）野洲市子ども・子育て支援事業計画の本年度の進捗状況について（案）

（２）第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたニーズ調査の結果及び分析について（案）

（３）第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたヒアリングの実施について（案）

（４）第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画の構成について（案）

・報告　（１）幼児教育・保育の無償化に向けた現状の動きについて

（２）三上こども園の開園について

（３）平成31年度保育園・こども園・幼稚園・こどもの家の入所入園状況について

（４）野洲市三方よし人材バンク事業の実績について

【審議結果】

（１）野洲市子ども・子育て支援事業計画の本年度の進捗状況について

→資料３に基づいて事務局より説明を行い、原案どおり承認が得られた。

・質疑応答については以下のとおり。

質問：資料２ページ６番の「病児・病後児保育事業」の「体調不良児対応型」についてであるが、これを行っている園に通園している子どものみが対象か。

回答：お見込みのとおり。その園に通っている方が利用するもので、他園からは利用できない。

（２）第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたニーズ調査の結果及び分析について

→資料４、５及び当日追加資料に基づいて事務局より説明を行い、第二期計画を策定する際に量の見込みのベースとすることとして承認が得られた。

・質疑応答については以下のとおり。

質問①：資料４の６ページの家庭類型について伺う。タイプCが「フルタイム×パートタイム月120時間以上等」とあるが、120時間はフルタイム扱いと考えられるため、「月120時間以下」ではないのか。

回答①：調査票ではフルタイムを1日8時間・週5日間（月約160時間）として尋ねているため、タイプCの「パートタイム月120時間以上等」の「等」には、就労時間がおおよそ月60時間以上160時間未満の方を含んだ層としている。

質問②：当日追加資料の11ページの子育て支援センターの利用状況について伺う。「利用していない」が80％とあったが、就学前児童全てに聞いている設問であるため、年齢別にみると、３～５歳、０歳児はあまり利用しない状況にあることから、主な対象である１～２歳児だけの利用率は高いのではないか。

回答②：確かに年齢別に集計結果を出すと割合は変わってくるため、データを精査し、主な対象となる年齢ではどうかが分かるように結果を記載したい。

質問③：同じく当日追加資料について伺う。前回と今回の比率を比較しているが、例えば６ページの０歳児についての説明については、前回は無回答が12.6％、今回は0％となっており、大分異なる。無回答を含めて比率を出して比較しても、あまり意味がないのではないか。

回答③：この資料は、取り急ぎ前回調査との比較をした結果を出したものであるので、もう少しどういう比較結果を掲載したら良いか調整していきたい。

他意見：今回、自身もこの調査票に回答した感想として、設問量が多いため、回答しているうちに現状の考えと願望が入り混じり、本当のところが分からなくなりながら答えている。そういう方も多いと思うので、この統計だけでは計られない部分を、これからのヒアリングなどで聞いてもらいたい。やはり面と向かって話をしながらの方が良いと思う。次にアンケートを実施するとしたら、設問量を減らして分かりやすくすると、回収率も上がり、実際の気持ちもより明確に答えられるのではないか。

（３）第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたヒアリングの実施について

→資料６に基づいて事務局より説明を行い、委員から出された意見を踏まえて、今後実施することについて承認が得られた。

・質疑応答については以下のとおり。

質問：ヒアリング対象の「市内中学校生徒会」のヒアリング事項について伺う。「子育て支援であったらいいなと思うこと」と「市の子育て環境について思うこと」とあるが、この２つの違いは何か。

回答：現時点ではまだ案の段階であるため、今後、考え方を整理し、聞くべきことをより明確にした上で実施したい。

他意見：「市内中学校生徒会」について、中学生では小さい頃のことは昔過ぎて覚えていないこともあると思うので、できれば小学生にもヒアリングができると良い。小学２年生、４年生あたりでは幼い頃のことを振り返る授業があるので、それも参考になるのではないか。また、ヒアリング対象としてファミリー・サポート・センターも入れてもらえると、実際の声も聞けると思う。

（４）第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画の構成について

→資料７に基づいて事務局より説明を行い、原案どおり承認が得られた。

【報告事項】

（１）幼児教育・保育の無償化に向けた現状の動きについて

・内閣府・文部科学省・厚生労働省による「幼児教育の無償化について」（資料８）に基づき説明を行った。特に意見等はなかった。

（２）三上こども園の開園について

・資料９に基づき、新しく整備した三上こども園の概要について報告を行った。

（３）平成31年度保育園・こども園・幼稚園・こどもの家の入所入園状況について

・資料10に基づき、平成31年度の入所・入園状況について報告を行った。

（４）野洲市三方よし人材バンク事業の実績について

・資料11に基づき、平成30年度の２月末までの実績について報告を行った。

【その他】

・次回の会議は、新年度５月下旬または６月初旬頃で日程調整を行う。

【提出された主な資料等】

・資料１：野洲市子育て支援会議名簿（第３期）
・資料２：野洲市子育て支援会議条例及び規則
・資料３：野洲市子ども・子育て支援事業計画の事業計画進捗管理
・資料４：野洲市子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果速報
・資料５：無償化による施設・事業の利用意向への影響について
・追加資料：アンケート調査結果の傾向分析（※前回調査との比較等）
・資料６：第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画策定にかかるヒアリングの実施について（案）
・資料７：「第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画」の構成（案）
・資料８：幼児教育の無償化について
・資料９：三上こども園の開園について
・資料10：平成31年度保育園・こども園・幼稚園・こどもの家の入所・入園状況について
・資料11：平成30年度野洲市三方よし人材バンク事業の実績２月末まで